

安全・安心ニュースレター



Ver17 2024年12月号

明治28年創業 宮川商店
Miyagawa

お客様に、安全と安心をお届けできましたら幸いです。

発行編集責任者 宮川裕道

①「パソコンサポート詐欺」 ②地震にあったら を紹介します

パソコンに突然警告画面「サポート詐欺」にご注意ください。

サポート詐欺とは、悪意のある Web サイトを訪問した利用者に偽の警告画面を表示し、画面上に表示しているなりすましサポートセンターに電話をさせて金品をだまし取る詐欺です。

マルウェア感染やパソコンのセキュリティに問題があると偽装した警告メッセージが表示され、警告音が鳴るケースもあります。次々に警告ウィンドウが開き、パソコンのスクリーンを装ってマルウェアが発見される画面を表示するなどして利用者の不安を煽ります。画面上のなりすましサポートセンターに電話をかけると有償サポートへ誘導され、プリペイドカードなどによる支払いを求められます。偽の警告画面はマルウェアの感染有無に関わらず繰り返し表示されているだけなので、偽の警告画面を閉じれば問題は解消します。偽の警告画面が表示されても、表示されているサポートセンターへの連絡や、アプリやソフトウェアのインストールは決して行わずに、ブラウザを終了させましょう。

サポート詐欺は Web サイトの遷移を伴いますから、怪しげな広告やリンクをクリックして偽の警告画面が開いた場合、いったん立ち止まって冷静に対処することが大切です。

サポート詐欺の被害に遭ったら(警察庁ホームページより)

①偽の警告画面を閉じる

偽のセキュリティ警告画面が表示された場合は、ブラウザを終了してください。ブラウザを終了できない場合は、ブラウザを強制的に閉じるかパソコンを再起動すると、偽のセキュリティ警告画面を閉じることができる場合があります。

②警告表示画面の指示に従わない

偽のセキュリティ警告画面に表示される電話番号に電話をしないでください。

また、偽のセキュリティ警告画面で指示されるアプリやソフトウェア等をダウンロード・インストールしないでください。

③クレジットカード会社等に連絡する

クレジットカードでサポート料金を支払ってしまった場合は、クレジットカード会社に連絡して、支払いの停止を依頼してください。

④偽のセキュリティ警告画面等を保存する

偽のセキュリティ警告画面やインストールしたソフトウェアが分かる資料のほか、支払ったクレジットカードの履歴や購入した電子マネーのカードも保存してください。

⑤警察に通報・相談する

サポート詐欺の被害に遭った場合は、偽のセキュリティ警告画面やインストールしたソフトウェアが分かる資料等を持参して、最寄りの警察署に通報・相談してください。

警察庁 サイバー警察局便り R6Vol.10 2024/10/25 より

サポート詐欺被害が発生！身近に潜む罠にご注意！！

パソコンに突然警告画面、ピーピー音が! どうしよう!?

☞それは「サポート詐欺」の可能性大！

パソコンでインターネットを閲覧中に、突然ウイルス感染をしたかのような嘘の画面を表示させたり、警告音を発生させるなどしてユーザの不安をおり、画面に表示したサポート窓口で電話をかけさせ、サポート名目で金銭をだまし取ったり、遠隔ソフトをインストールさせたりする手口です。

【犯行手口の詳細は…】日本サイバー犯罪対策センター (JC3)

「サポート詐欺の電話番号に電話を掛けてみた」 <https://www.ic3.or.jp/threats/examples/article-570.html>

〈被害防止対策〉

- 電話をかけない！ソフトをダウンロードしない！代金を支払わない！
- OSやソフトウェアを最新に！ウイルス対策ソフトの導入を！
- 広告を装ったEメールからサポート詐欺サイトへ誘導する手口もあり！

〈警告画面を閉じる方法〉

①「ESCキー」長押し
→「×ボタン」を表示
させ、クリックして画面を閉じる



②「Ctrl」+「Alt」+「Del」を同時に押し、タスクマネージャを起動
→利用ブラウザを選択し「タスクの終了」

※上記①、②の方法でも画面が閉じれない場合、慌てずに下記窓口（警察又はIPA）に相談を！！

慌てないで！画面の指示には従わず誰かに相談を！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口

<https://www.cpa.go.jp/bureau/cober/sondan.html>



消費者ホットライン

☎188 (全国共通)

IPA情報セキュリティ安心相談窓口

☎03-5978-7509

インターネットのセキュリティ対策なら、株式会社宮川商店にお任せください

tel0749-62-0490 info@mgshoten.co.jp

明治28年創業 宮川商店
Miyagawa

地震にあつたら

住宅地

強い揺れに襲われると、住宅地の路上には落下物や倒壊物があふれます。

- 住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。
- 電柱や自動販売機も倒れてくる可能性がありますので、そばから離れましょう。
- 屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくることがあります。頭の上も注意しましょう。
- 強い揺れが起きると、耐震性能の低い住宅が倒壊する場合があります。これにより瓦礫や窓ガラスが道路内に散乱する可能性もありますので、揺れを感じたら周辺の状況に注意しましょう。

オフィス街・繁華街

中高層ビルが建ち並ぶオフィス街や繁華街では、窓ガラスや外壁、看板などが落下してくる危険性があります。

- オフィスビルの窓ガラスが割れて落下すると、**時速 40～60km で広範囲に拡散**。ビルの外壁や張られているタイル、外壁に取り付けられている看板等が剥がれ落ちる事もあります。鞆などで頭を保護しできるだけ建物から離れましょう。
- 繁華街では、オフィス街には少ない、店の看板やネオンサインなどの落下・転倒物が加わります。
- 強い揺れに襲われた際には十分注意しましょう。

海岸

海岸で強い揺れに襲われたら、一番恐ろしいのは津波です。避難の指示や勧告を待つことなく、安全な高台や避難地を目指しましょう。

- 近くに高台がない場合は、**3階建て以上の建物を目指し、3階より上に上がります**。
- 津波は繰り返し襲って来て、第一波の後にさらに高い波が来ることもあります。いったん波が引いても絶対に**戻ってはいけません**。
- 避難標識が整備されている場合には避難する際の目安になります。
- 水浴中の場合は、監視員やライフセーバーがいる海水浴場では指示に従って避難しましょう。



川べり

津波は水を湛えている川を遡ります。

- 流れに沿って上流側へ避難しても津波は追いかけてきます。**流れに対して直角方向**に素早く避難。

運転中

急ブレーキを踏めば予想外の事故を引き起こすことにつながります。

- 揺れを感じたら
 - 1: 急ブレーキは禁物です。ハンドルをしっかり握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車します。
 - 2: エンジンを切り、揺れがおさまるまでは車外に出ず、カーラジオから情報を入手します。
 - 3: 避難の必要がある場合は、**車のキーはつけたままにし、ドアをロックしないで、窓を閉めます**。
 - 4: **連絡先を見えるところに書き**、車検証などの貴重品を持ち、徒歩で避難します。
- 車での避難は、緊急自動車などの妨げになりますのでやめましょう。
- 高速道路では、普通の道路を走行中の対処に加え、以下の点にも留意しましょう。
 - 高速走行しているのでハザードランプを点灯させ、前後の車に注意を喚起します。
 - 高速道路では約 1 km ごとに非常口が設けられており、ここから徒歩で地上に脱出することができます。



鉄道

緊急停車に備え、ケガをしないように姿勢を低くしたり、手すりやつり革をしっかり握りましょう。

- 強い揺れを感知すると電車は緊急停車します。
- 座席に座っている場合には、低い姿勢をとって頭部を鞆などで保護し、立っている場合には手すりやつり革をしっかり握って転倒しないようにしましょう。
- 停車後は、乗務員の指示に従いましょう。

新幹線

新幹線は早期地震検知警戒システム（ユレダス）が作動して緊急停車します。

- 高速走行している場合が多いので、座席に座っている場合には、前に飛び出さないように座席の間に体を隠し、立っている場合には手すりをしっかり握って転倒しないようにしましょう。停車後は、乗務員の指示に従いましょう。

滋賀県長浜市宮前町 12-6 株式会社宮川商店

Mail info@mgshoten.co.jp tel 0749-62-0490 FAX 0749-63-8597

発行編集責任者 宮川裕道 防災士(登録No.289883)日本トイレ協会会員 日本トイレ研究所個人会員